



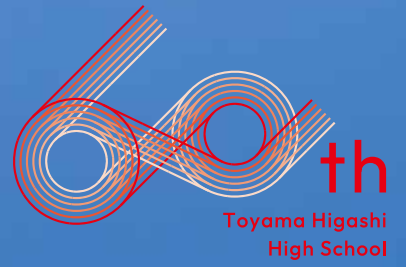
次の高みへ

th

Toyama Higashi
High School



富山県立富山東高等学校ホームページ
www.higashi-h.tym.ed.jp



次
の
高
み
へ





高きを求め
誠まことに生なまきん

富山県立富山東高等学校校歌

作詞 村上元三
作曲 大中正

一 東の窓へ

あけやう朝

山脈湧きて

光を放つ

剣の山嶺が

氷の鑑

あめそがまどに

流れらるる

高き理想を

掲げずや

六有砦の波の

とどろく大地

寒氣を衝て

香を放つ

真白き梅が

わが徽章

あめそがまどに

雨を清し

若き希望を

抱かずや

いと友よ

高きを求め

二の誠

燃え進む



次の高みへ



th

Toyama Higashi
High School





創校 60 周年を迎えて

富山県立富山東高等学校創校60周年記念事業実行委員会委員長
富山県立富山東高等学校教育振興会会長

高田 真里

本校は1962(昭和37)年に開校、おかげさまで本年60周年を迎えることとなりました。これまでご尽力いただきました教育関係者各位、同窓生の皆様、保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。

本校第20回卒業生の私が通学していた頃は、東富山駅から線路の西側を踏切まで北へ、そこから東へ稲の成長を横目にカーブの道を進むとグラウンドが目飛び込んでくる、同じ校舎で学び集う同級生や先輩後輩皆さんの元気な声、躍動する姿など、目を閉じると一瞬で昭和のあの頃にタイムスリップし、当時の風や匂いも運んでくるようです。

現在、東富山駅には東改札口ができ通学も便利になり、学校周辺は広く開けた道路が新設され商業施設などが立ち賑やかになりました。また本年3月には第一体育館が新しく完成し、在校生の活気ある活動へ大きく寄与するものと期待しています。

この60年の間、本校の「高きを求め 誠にしきん」の校訓は、社会でご活躍されている数多くの卒業生、そして在校生の心に大きな影響を与えているものと感じています。教育振興会として歴史を紡いでこられた皆様方のご努力に感謝し、その意思を受け継ぎ、さらなる教育環境の振興に努めてまいります。本校の今後ますますの発展に向け、皆様方の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

富山東高校の未来に「いざ友よ 高きを求め この誠燃えて進まん」!!



新たな時代へ共に

富山県立富山東高等学校同窓会会長

田中 洋一郎

この度は、富山県立富山東高等学校が創校60周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

1962(昭和37)年、現富山市立東部小学校内に開校し、38年より現在の地の新校舎に移転、何度かの増築を経て、現在に至っております。この間の卒業生は17,000名を超えて、県内はじめ全国各地で活躍されております。ご縁あって同窓会会長の大役を引き受けておりますが、各方面で活躍しておられる皆様方の近況を耳にすることが増え、同窓生として誇らしく、同時に、大変心強く思っております。

また、在校生の部活動での活躍も目覚ましく、文武両道を実現している皆さんの活躍は大変嬉しく思っております。これまでの60年の歴史は数多くの教職員、卒業生の皆さんが築いてこられました。これからの歴史は、現在の教職員と在校生の皆さんが新たな一歩を刻んでいくこととなります。

私達を取り巻く環境は、これまで以上のスピードで大きく変貌していくことでしょう。皆さんには、校訓である「高きを求め 誠にしきん」を心に抱き、新しい時代に果敢に挑戦されることを期待しています。同窓会では、これからも皆さんの教育環境の充実と発展のため、微力ではありますが、諸事業を行ってまいります。

最後となりましたが、本校の益々の発展と皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



「文武一貫」 人格を磨き、 高き理想の達成を目指す

富山県立富山東高等学校校長
佐々木 啓介



新しい富山東高校をめざし 更なる発展に願いをこめて

富山県立富山東高等学校PTA会長
松坂 吉朗

本校は、1962年4月に開校し、「高きを求め 誠に生きん」の校訓のもと、生徒と教職員が心を一つにし、豊かな学校生活と輝かしい校風・伝統を築いてまいりました。

生徒は日々、自分の理想や目標を実現するため、「文武両道」をさらに昇華させた「文武一貫」の精神を理解し、学習と部活動の両方に熱心に取り組み、その相乗効果でさらに高いレベルを追究しております。

平成9年度より、身近な自然科学の課題について、観察や実験・実習などを柱として科学的・総合的に学習する自然科学コースを設置し、自然科学探究や課題研究などの特色ある専門科目の設置や外部機関での実習・研修を通し、将来科学の世界で活躍する人材の育成を図っております。

こうした実績や歴史を誇る本校は、文武一貫の精神を理解し人格を磨き、高き理想の達成を目指して自ら道を切り開き、社会に貢献できるように生徒を育成するために、さらなる飛躍を期して、次の10年に向けて新たなスタートを切ろうとしています。今後とも、より一層信頼される学校づくりを目指し、教育活動の改善と推進に努めてまいります。関係各位の皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

2022(令和4)年、富山県立富山東高等学校はめでたく創校60周年を迎えることができました。PTAを代表して心よりお祝い申し上げます。

1962(昭和37)年4月に産声を上げた本校は、「高きを求め 誠に生きん」の校訓のもと17,000人を超える卒業生を送り出し、卒業生は県内外幅広く活躍されています。活躍の背景には歴代校長先生をはじめ、熱い情熱を持った教職員の方々のご苦勞があったと思います。ここに深く感謝申し上げます。この60年、世の中は随分と変わりました。昭和から平成、平成から令和へ移り行く中で、様々なことを経験してきました。そんな激動の60年間、諸方面から絶大なご支援を頂いてまいりました。また、現在もご尽力いただいている教育振興会、同窓会の方々、そしてこれまでPTA活動を支えていただいた諸先輩の皆様にも深く感謝致します。

現在、在学しておられる生徒の皆さんは、60年の歴史に誇りを持ち、勉学・部活動に「文武一貫」の精神で意欲を燃やし、輝かしい未来を切り拓いてください。

最後に、創校60周年の節目の年にPTA会長を務めさせていただくことを、大変光榮に思っております。諸先輩方が60年築き上げてこられたよき伝統をこれからも継承しつつ、時代の変化に対応した「新しい富山東高校」をめざし更なる発展を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

新たな時代に向かって

文武一貫を掲げ、更なる向上を目指す

学校行事

体育大会



東窓祭



共同
宿泊学習



筑波研修



強歩大会



学校生活



部活動



60周年を迎え、 今、君たちに伝えたいこと



前列左から 廣瀬 康夫さん、田代 文雄さん、東山 潤子さん
後列左から 白石 恋人さん、村井 沙希さん、高田 麻衣さん、坂元 大地さん
2022（令和4）年8月5日、1年4組の教室にて

【出席者】

田代 文雄（1回生）
廣瀬 康夫（3回生）
東山 潤子（5回生）

村井 沙希
（2年：生徒会長）
白石 恋人
（2年：生徒会副会長）
高田 麻衣
（1年：生徒会書記）

〔司 会〕

坂元 大地
（1年：放送部）

創校当時、何もないのが当たり前。 そこから、新たな取り組みが始まる

司会：当校は、1962（昭和37）年創校以来、今年で60周年を迎えます。本日はOB・OGの方々より創校当時の思い出をお伺いします。

田代：まだ校舎もなかったので、富山東部小学校の五軒長屋に入学させていただきました。体育館も運動場もなく、小学校のを借りていました。体育館ができたのは卒業後、校舎は2年の時に建ちました。集会は、天気の良いときは屋上、雨の日は3階の廊下でした。何もなかったですが、不自由を感じることもなく、ないことは当たり前。勉強も今の生徒さんたちほどしなかったと思います。粗暴な人や真面目な人、いろいろな人がいましたが、みんな和気あいあいとして楽しかったです。なければならぬ、何でもできる。懐かしくもほろ苦い思い出ですね。初代 村上校長は、「文武両道」を大切にしておられた。男子が10km、女子が5kmマラソンをするのですが、校長先生も含め全校で一生涯懸命走りました。

廣瀬：私は住まいが富山市だったので自転車通学していました。毎日、記録していて22分が最速でした。当時は学食がなく、向かいの「金山」という商店で、

当時出始めたインスタントラーメンを作ってもらいました。朝食にね。あと「赤門」という食堂とで、駅から歩いてくる間に、この2軒しかありませんでした。面白い授業として、お隣から何人かずつ一つのクラスに集まって勉強する（今でいう選択授業）というものがありませんでした。新設校なので、試験的な授業や、いろいろな取り組みをされたんだと思います。

先生と生徒の交流も盛んで、卒業の頃になると担任の先生から「人生は生涯教育しかない。勉強の仕方を学んで、これからもっと勉強しなければならない」という言葉をいただいたのは、思い出に残っています。

東山：私は5回生ですが、1・2・3回生とは随分違ってました。体育館もあり、新しい校舎もできていて誇らしく感じました。

ただ一つ困ったことは通学時です。電車も1時間に1本しかなく、バスもぎゅうぎゅう詰めで、スカートが今のようにパーマネントプレス加工ではないので、雨の日は風船のように膨らみ、乙女心を傷つけられました。晴れた日は、前の道が砂埃で学校に着いたら砂を払わなくてはならないのが大変でした。

先ほども先輩の話に出ましたが、「文武両道」の一環として「強歩大会」がありました。何キロも歩くのです

が、普段話をしない若い先生とおしゃべりしたり、カッコイイと憧れている男子生徒の話を友達としながら歩いたりして結構楽しかったです。

廣瀬：この学校の校歌はいいね。こんな校歌、なかなかないですよ。作詞は、村上校長、作曲は大中恩氏。

田代：同窓会で集まると、必ず大きな声で校歌を歌います。高校時代のいろいろな出来事が鮮明に蘇ります。当時は、みんなで「やろうやろう！」という気持ちが強く、例えば他校にあるのなら僕らも作ろうと、有志で野球部と応援団を作りました。創校 60 周年を迎えた今も、良い学校だったと、つくづく思います。

東山：バトントワリングにも挑戦したりしました。ない代わりに、新しいものを作る喜びがありました。

勉強や部活動に一生懸命。 生徒たちの絆を深める

司会：では、現在の東高校の様子について教えてください。

村井：学校行事は、1 学期に体育大会、2 学期は球技大会と 3 年に一度の東窓祭があり、3 学期は読書会があります。どの行事もみんな楽しみにしています。生徒は、勉強や部活動に一生懸命取り組み、部活動や行事を通して生徒たちの絆が深まっていて、どの学年もとても雰囲気が良いです。休み時間は次の授業の予習をしたりおしゃべりをしたり、中には早弁をしている人もいます。学校の周辺は、パン屋、スーパー、ドラックストア、100 円ショップなどがあり、とても過ごしやすい環境になっていますが、朝や学校にいるときは行けないので、あまり使うことはないかな。

通学では、昨年あいの風とやま鉄道東富山駅に東口ができたので便利になりました。

司会：創校当時と現在では、学校周辺の環境や生徒の様子は変わっていますが、「高さを求め 誠に生きん」の姿勢は変わっていないと感じました。

良き伝統を受け継ぎ、 世の中の役に立つ人間に

司会：今後、入学してくる未来の東高校生たちにはどうなってもらいたいのか、お聞かせください。

田代：「文武両道」というのは、即ちバランスだと思います。卒業生に研究者が多いとかいうことはありませんが、東高校はバランスの良い生徒が多く、社会への適応力もあり、レベルが高いと思います。僕は、卒業生として誇りをもっています。皆さんには、世の中の役に立つ人、円満で人間として心豊かな人になって欲しいです。そういう人たちを社会は求めているんじゃないですかね。

廣瀬：バランス感覚もさることながら、もっと社会科学を勉強してこれば良かったと思います。また、いろんな事を経験してもらいたい。僕は 3 カ月かけてフランスの真ん中からスペインの西の端まで 1600km 歩いたんだけど、見聞きすることは必要。もっと若いときにやっておけば良かったと思う。時計の進み方は人それぞれだけど、もう少し緩く自分の人生見つめ直しても良いかな。

東山：高校時代は、一番感受性が豊かな時期。そこでどんな人と出会って何を見つけ何に目覚めるか、ということは大変なんだと思います。でも見つからない場合もあります。それでも、何かを見つけたい、感動することに出会いたい、と思って過ごして欲しいです。

高田：先輩方が作ってくださった行事や伝統、学校の雰囲気を受け継いでいって欲しいです。

白石：東山さんが仰った通り、感受性豊かな時期に、いろいろな経験をして欲しいです。

村井：コロナウイルス感染拡大防止のため、先輩たちや私たちの代でも学校行事や部活動など中止や制約されたことがたくさんありました。コロナが落ち着いたら、高校生だったら楽しめる事をもっと楽しんで欲しいです。

司会：本日は、OB・OGの方々より大変貴重なお話を伺うことができました。東高校の同窓生や現役生、そして未来の東高校生には、また新たな取り組みに挑戦でいただけたら嬉しく思います。



2012年

8月
水泳競技 インターハイ出場
ボート競技 インターハイ出場 第3位
書道部・写真部・科学部・合唱部 全国高総文祭出場

10月
50周年記念式典
記念講演 福岡 伸一氏



11月
野球部 21世紀枠候補に



2013年

8月
水泳競技 インターハイ出場
水泳競技 JOC ジュニアオリンピックカップ出場
写真部 写真甲子園 優秀賞
写真部 全国高総文祭出場

11月
サッカー部 全国高校サッカー選手権大会富山県大会
準優勝 VS 富山第一（全国優勝時）



2014年

8月
女子硬式テニス部 インターハイ出場

9月
東窓祭 記念講演 秋山 仁氏



12月
第1回海外研修

2015年

7月
野球部 全国高校野球選手権富山大会
準優勝 VS 高岡商業



8月
学芸部・書道部・写真部 全国高総文祭出場
写真部 写真甲子園 敢闘賞
ボート競技 インターハイ出場



11月
サッカー部
全国高校サッカー選手権大会富山県大会
準優勝 VS 富山第一

2016年

8月
科学部・合唱部・学芸部 全国高総文祭出場
水球競技 世界ユース選手権大会 モンテネグロ大会 日本代表

2016年

11月
野球部 21世紀枠候補に（北信越大会出場）



2017年

8月
学芸部・科学部 全国高総文祭出場

9月
東窓祭
記念講演 眞鍋 政義氏
美術部 全国植樹祭の大会ポスター原画に採用



2018年

8月
体操競技 インターハイ出場
吟詠 全国高総文祭出場
水球競技 JOC ジュニアオリンピックカップ出場

11月
野球部 21世紀枠候補に

2019年

8月
体操競技 インターハイ出場
水泳競技 インターハイ出場



2020年

4月
1人1台タブレット導入。リモート授業の実施

2021年

3月
あいの風とやま鉄道東富山駅 東口改札供用開始

8月
国道415号線 東富山跨線橋開通
水泳競技 インターハイ出場
体操競技 インターハイ出場
学芸部 全国高総文祭出場



2022年

3月
第一体育館竣工

8月
水泳競技 インターハイ入賞
合唱部 全国高総文祭出場

9月
水泳競技 国体入賞

10月
60周年記念式典



校舎紹介

本校校舎は昭和 38 年に教室棟が竣工し、その後順次工事を重ね、昭和 40 年にほぼ現在の形になった。中庭には、校章をかたどった噴水が配置されている。また、創校 10 周年を記念して設置された三体のモニュマンは、日展作家である、永原廣氏の手によるものである。



中庭



モニュマン



モニュマン



モニュマン



石碑 (校歌)



石碑 (校訓)

バーチャル校内ツアー

360°カメラで撮影した撮影ポイントのすべての方向を自由に見渡すことができるVRコンテンツにより、インターネット上で、校内を巡ってみよう。

校舎平面図



VRコンテンツ

【用意するもの】 インターネットに接続しているスマートフォン、タブレットなどの端末

- 【利用方法】**
1. 見たい場所のQRコードを端末のカメラでスキャンしてください。
 2. 端末にバーチャル校内ツアーの画面が表示されますので操作方法に従って閲覧ください。

【閲覧方法】



見取り図をタップすると、
見取り図が拡大・縮小します。

見たい場所のポイントをタップすると
移動します。

画像を見たい方向にスワイプすると
視点が動きます。

画像一覧を表示します。

画像を拡大・縮小します。
(ピンチイン・ピンチアウトでも可)



校舎1階、屋外



校舎2・3階

(ご注意)

- ・バーチャル校内ツアーのご利用は無料ですが、データ通信を行うため、携帯・通信キャリア各社にてデータ通信料が発生する場合があります。
- ・すべてのスマートフォン、タブレットで動作保証は致しておりません。
- ・バーチャル校内ツアーは運用アプリケーションサービス停止等の要因により閲覧できなくなる場合があります。あらかじめご了承願います。

ロゴマーク コンセプト



60年は、人間でいうと還暦の歳にあたります。

ここからまた新たな暦が始まるという祝いを、

水引のデザインで表現しました。

「60」の部分には、これからも歴史を繋いでいくという意味を込め、

「∞(無限大)」のマークが隠れています。

編集後記

このたび、富山東高校は創校60年を迎え、「還暦」となりました。この記念誌のロゴには、無事60歳を迎えたお祝いと、さらなる発展への願いが込められています。

この記念誌の目玉として、大先輩方と現役生徒との座談会を企画しました。今まで写真等で先輩方の姿を拝見することはできませんでしたが、その生の声や本校に対する熱い思いを直接うかがう機会はありませんでした。皆様にはこの記事を通して、先輩方の思いに触れ、本校卒業生として今後も受け継いでいってほしいと願います。また、校舎紹介のページには、VRコンテンツが載せてあり、これもまた、今までの記念誌にない特徴であると思います。

最後になりましたが、記念誌作成にご協力いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。

【創校60周年記念事業実行委員会】

委員長 高田 真里 教育振興会会長

副委員長 田中洋一郎 同窓会会長

松坂 吉朗 P T A会長

五十田利昭 部活動後援会会長

佐々木啓介 校長

幹 事 吉國 陽子 副校長

向野 繁 教頭

腰 裕治 事務部長

浅尾 仁一 総務図書部長

次の高みへ 創校60周年記念誌

2022(令和4)年 10月 発行

発 行 富山県立富山東高等学校 創校60周年記念事業実行委員会
富山市下飯野荒田6-1 TEL 076-437-9018

編 集 富山県立富山東高等学校

印 刷 株式会社チューエツ

富山市上本町3-16 TEL 076-495-1310
